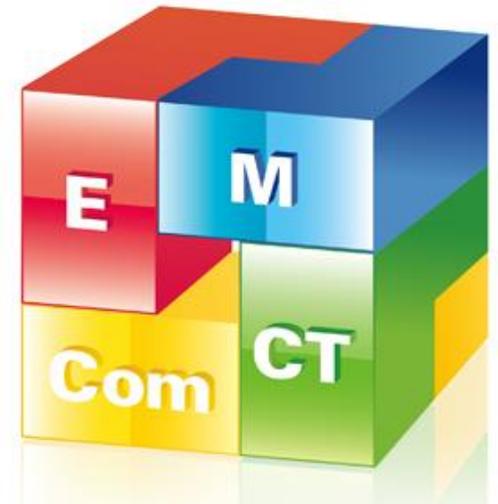


『世界に飛躍、New Origin !』

～そして技術再生と構造改革、100年企業を目指して～

2016年3月期
第2四半期連結決算説明資料



2015年11月26日
オリジン電気株式会社

目次

2016年3月期 第2四半期連結決算説明

◇第2Q連結累計期間決算の概要	P3	◇第2Q連結累計期間キャッシュ・フローの状況	P10
◇第2Q連結累計期間経営成績	P4	◇配当の状況	P11
◇セグメント別第2Q連結累計期間売上高	P5	◇16/3期連結業績予想	P12
◇製品別第2Q連結累計期間売上高比率	P6	◇連結経営成績の推移	P13
◇海外顧客向け第2Q連結累計期間売上高	P7	◇研究開発本部	P15～P18
◇セグメント別第2Q連結累計期間営業利益	P8	◇エレクトロニクス事業部門	P19～P30
◇第2Q連結会計期間末財政の状態	P9	◇メカトロニクス事業部門	P31～P44
		◇ケミトロニクス事業部門	P45～P55
		◇コンポーネント事業部門	P57～P69

第2四半期連結累計期間 決算の概要



◆POINT◆

◇上期概要

売上高 : 16,564百万円 (前年同四半期比 Δ 9.4%) 営業利益 : 1,016百万円 (前年同四半期比 Δ 36.7%)
経常利益 : 1,149百万円 (前年同四半期比 Δ 36.3%) 親会社株主に帰属する四半期純利益 : 715百万円 (前年同四半期比 Δ 33.5%)
※%表示は対前年同四半期比増減率。

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業収益や雇用・所得環境の改善を背景に、景気は穏やかな回復基調が続いております。一方、海外経済は、先進国を中心とした穏やかな成長が続いていますが、中国経済の減速が鮮明となり、先行き不透明な状況で推移しております。このような中、当第2四半期連結累計期間の売上高は、主としてコンポーネント事業の精密機構部品が前年同四半期比で増収となりましたが、メカトロニクス事業が前年同四半期比で大幅な減収となり、売上高は165億6千4百万円(前年同四半期比9.4%減)となりました。利益面におきましては、営業利益10億1千6百万円(前年同四半期比36.7%減)、経常利益11億4千9百万円(前年同四半期比36.3%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益は7億1千5百万円(前年同四半期比33.5%減)となりました。

◇下期重点施策

- 1.業容拡大に向けた事業活動の強化
- 2.新製品のタイムリーな市場投入
- 3.自前主義からの脱却、共創とシナジー効果、コラボレーションの発揮
- 4.具体的なグローバル活動(国内再整備を含む)の推進
- 5.本社移転と構造改革の推進

◇16/3期連結業績予想

売上高 : 34,000百万円 (前期比 Δ 7.2%) 営業利益 : 1,800百万円 (前期比 Δ 38.8%)
経常利益 : 1,800百万円 (前期比 Δ 48.6%) 親会社株主に帰属する当期純利益 : 1,200百万円 (前期比 Δ 58.2%)
※%表示は対前期増減率。

第2四半期連結累計期間 経営成績



(単位:百万円)

	16/3期 上期	15/3期 上期	主な要因				
売上高	16,564	18,276	エレクトロ 4,201 前年同四半期比 2.4%減	メカトロ 1,627 57.2%減	ケミトロ 5,487 4.0%増	コンポーネント 5,248 7.3%増	
営業利益	1,016	1,605	セグメント利益 エレクトロ 410	メカトロ 171	ケミトロ 560	コンポーネント 667	調整額 ▲793 合計 1,016
経常利益	1,149	1,804	コンポーネント事業の売上は好調だったものの、メカトロニクス事業の主力製品の売上の減少に伴い、営業利益は前年同四半期に比べ588百万円減少しました。				
親会社株主に帰属する四半期純利益	715	1,076	営業外収益に受取利息47百万円、受取配当金47百万円等を計上したことにより経常利益1,149百万円となりました。 ※調整額は各事業に配分していない全社費用であります。				

(単位:円)

1株当たり 四半期純利益	21.46	32.29
-----------------	-------	-------

◆POINT◆

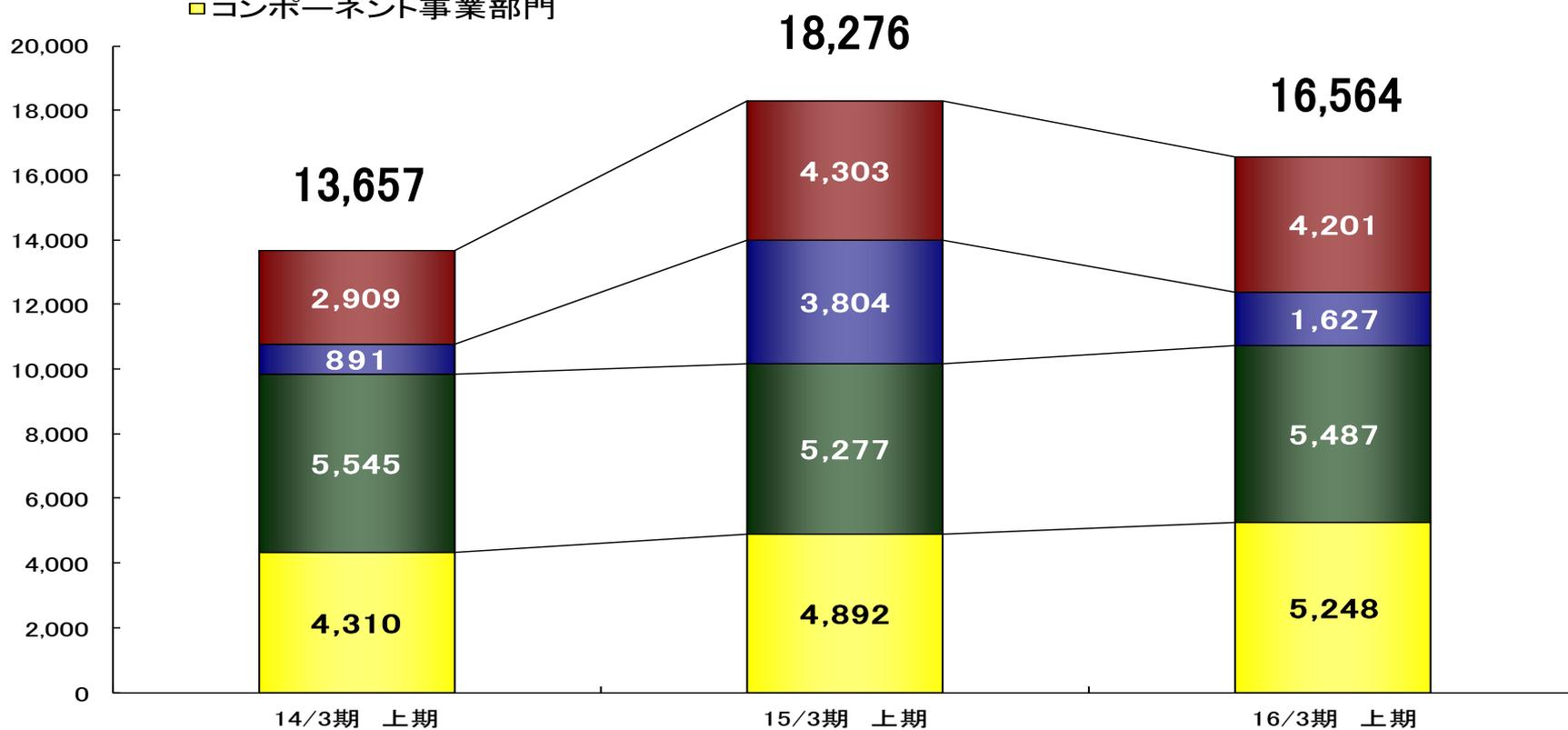
コンポーネント事業の精密機構部品が複写機・プリンタ関連とATMなどの金融機器向け製品が需要増加により順調に推移し前年同四半期で増収となりましたが、メカトロニクス事業が前年同四半期で大幅な減収となり、売上高は165億6千4百万円(前年同四半期比9.4%減)となりました。

セグメント別 第2四半期連結累計期間売上高



- エレクトロニクス事業部門
- メカトロニクス事業部門
- ケミトロニクス事業部門
- コンポーネント事業部門

(単位:百万円)

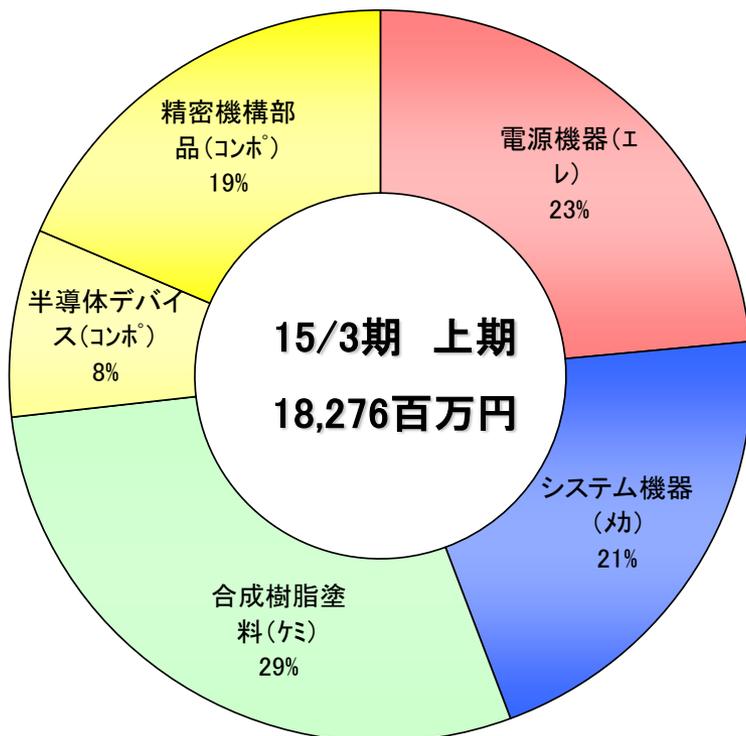


製品別

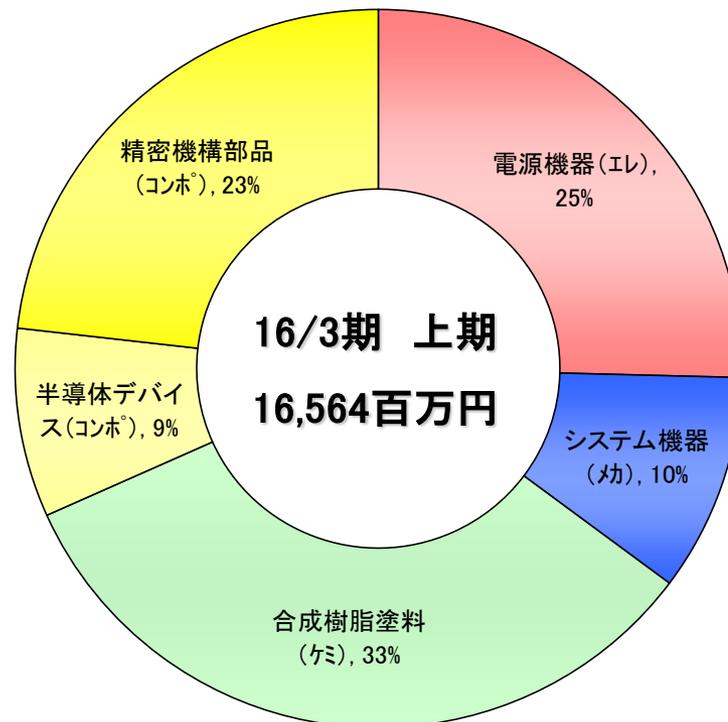
第2四半期連結累計期間売上高比率



コンポーネント事業部門
27%



コンポーネント事業部門
32%



海外顧客向け 第2四半期連結累計期間売上高



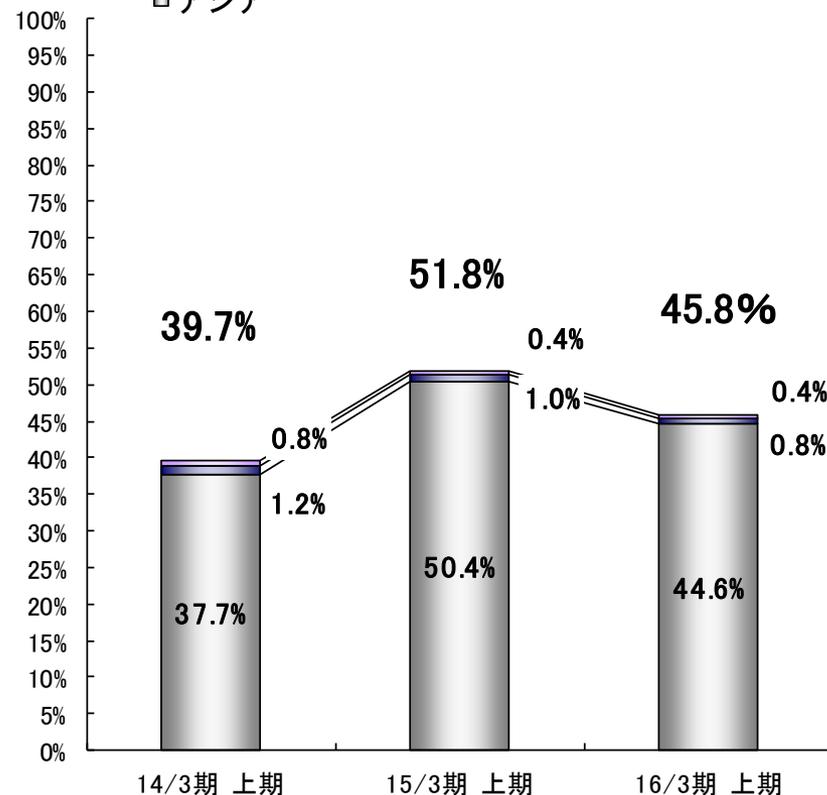
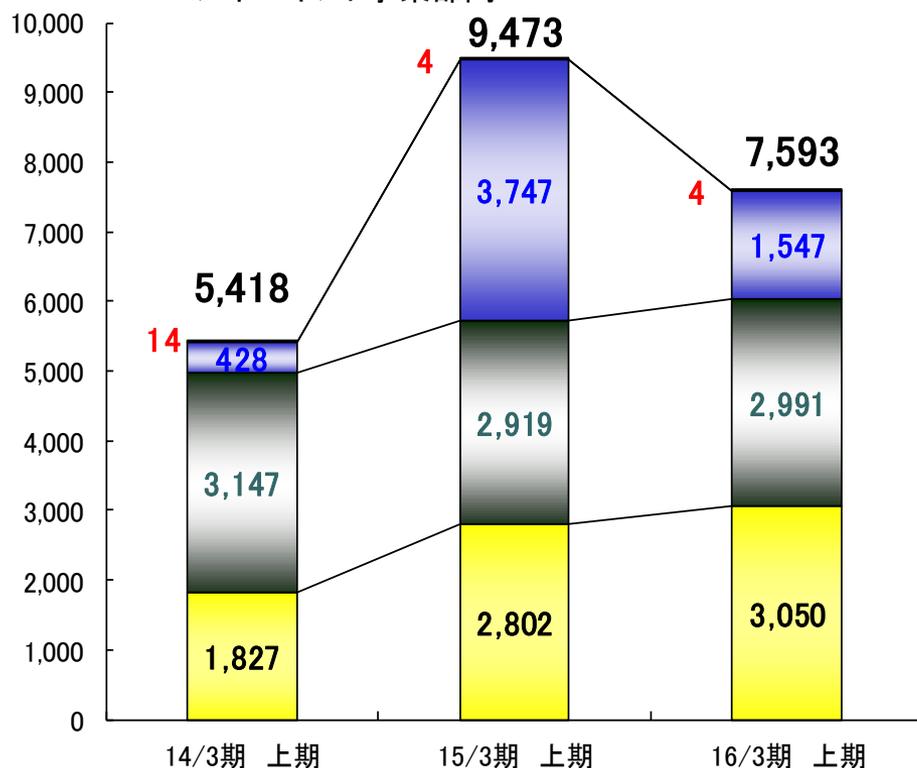
—セグメント別—

—地域別—

- エレクトロニクス事業部門
- メカトロニクス事業部門
- ケミトロニクス事業部門
- コンポーネント事業部門

- その他地域
- 北米
- アジア

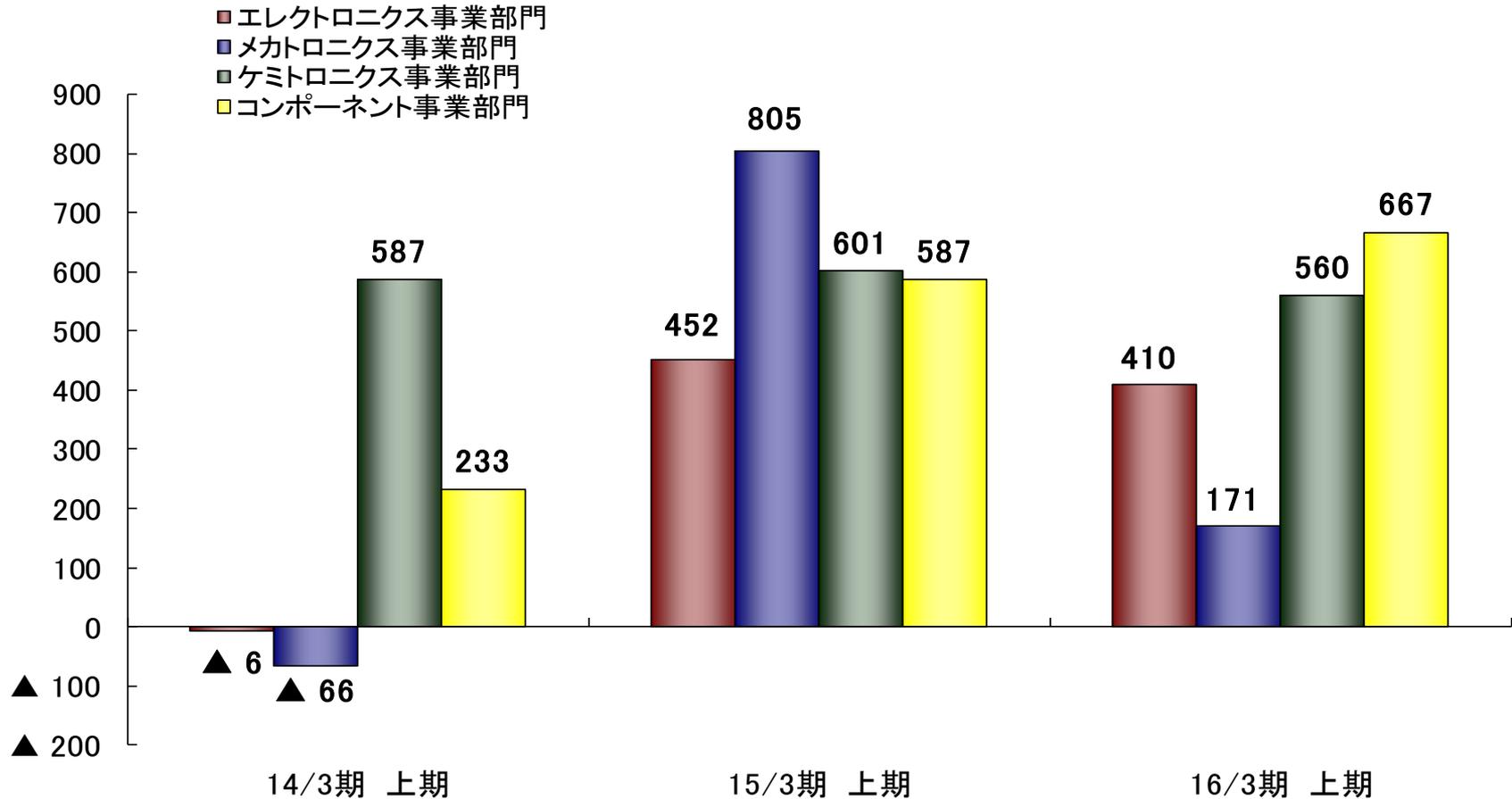
(単位: 百万円)



セグメント別 第2四半期連結累計期間 営業利益（全社費用配分前）



(単位:百万円)



第2四半期連結会計期間末 財政の状態



(単位:百万円)

	15/9/30	15/3/31	主な要因
流動資産	27,239	27,534	前期末比294減少:商品及び製品312増加、現金及び預金611減少、仕掛品335減少
固定資産	16,958	15,093	前期末比1,864増加:建物及び構築物974増加、建設仮勘定792増加
流動負債	12,662	11,050	前期末比1,611増加:未払金1,283増加、短期借入金700増加、支払手形及び買掛金538減少
固定負債	5,486	5,884	前期末比398減少:長期借入金265減少
純資産	26,049	25,693	
総資産	44,198	42,628	

◆POINT◆

本社及び本社工場移転による新棟建設に伴い、固定資産が増加いたしました。

自己資本比率	52.8%	53.7%
--------	-------	-------

第2四半期連結累計期間 キャッシュ・フローの状況



(単位:百万円)

	16/3期 上期	15/3期 上期	主な要因
営業活動によるC/F	454	1,802	増加要因は税金等調整前四半期純利益1,136、減価償却費484 減少要因は仕入債務の減少552、法人税等の支払393
投資活動によるC/F	▲ 1,149	▲ 570	有形固定資産の取得による支出920、子会社株式の取得による支出149
財務活動によるC/F	63	▲ 389	増加要因は短期借入金の純増加700 減少要因は長期借入金の返済265、非支配株主への配当金200、配当金150
現金及び現金同等物の増減額(▲減少)	▲ 556	843	<div style="border: 2px solid blue; padding: 10px;"> <p style="text-align: center; margin: 0;">◆ POINT ◆</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現金及び現金同等物の残高は5,973百万円となり前年同四半期末比552百万円減少しました。 ・前連結会計年度末からは556百万円減少しました。 </div>
現金及び現金同等物の四半期末残高	5,973	6,526	

配当の状況

(単位:円)

	16/3期 (期末と年間は予想)	15/3期
第2四半期末	3.50	3.50
期末	3.50	4.50
年間	7.00	8.00

◆POINT◆

- ・取締役会において、中間配当金3.50円の配当を決議しました。
- ・期末配当金については、予想を変更しておりません。これにより、年間配当金は7.00円を予定しております。

16/3期連結業績予想

(単位: 百万円)

	16/3期		15/3期		通期増減 ①－②
	上期	通期(予想) ①	上期	通期 ②	
売上高	16,564	34,000	18,276	36,625	△ 2,625
営業利益	1,016	1,800	1,605	2,941	△ 1,141
経常利益	1,149	1,800	1,804	3,498	△ 1,698
親会社株主に帰属 する当期純利益	715	1,200	1,076	2,872	△ 1,672

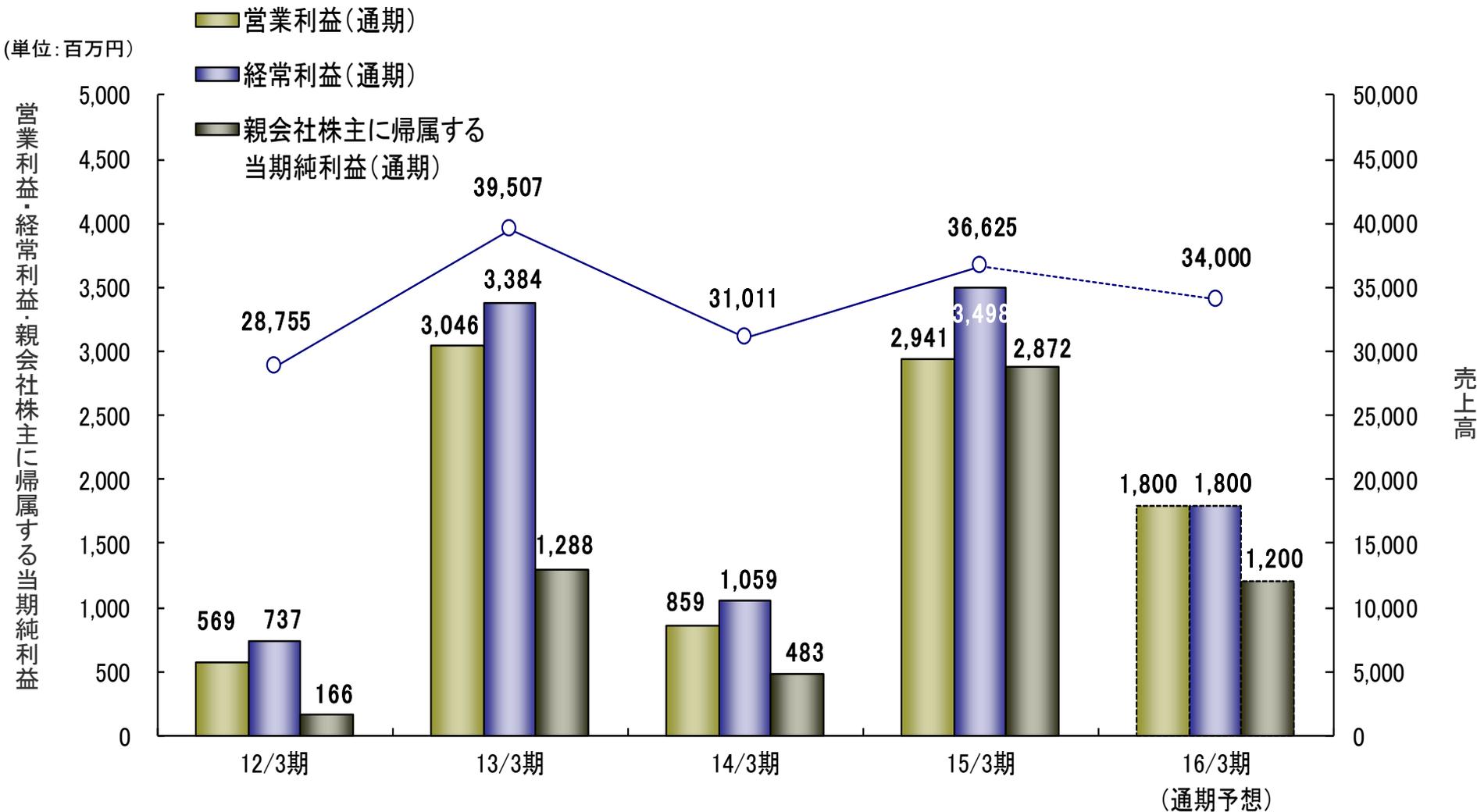
◆POINT◆

- ・16/3期 上期の売上高のセグメント別内訳は、下表のとおりです。
- ・通期の連結業績予想につきましては、平成27年5月13日の決算発表時の予想に変更はありません。
- ・本社及び本社工場移転に係る費用5億円程度を織り込んでおります。

(単位: 百万円)

売上高	16/3期 上期	15/3期 上期	上期増減
エレクトロニクス事業部門	4,201	4,303	-2.4%
メカトロニクス事業部門	1,627	3,804	-57.2%
ケミトロニクス事業部門	5,487	5,277	4.0%
コンポーネント事業部門	5,248	4,892	7.3%
合計	16,564	18,276	-9.4%

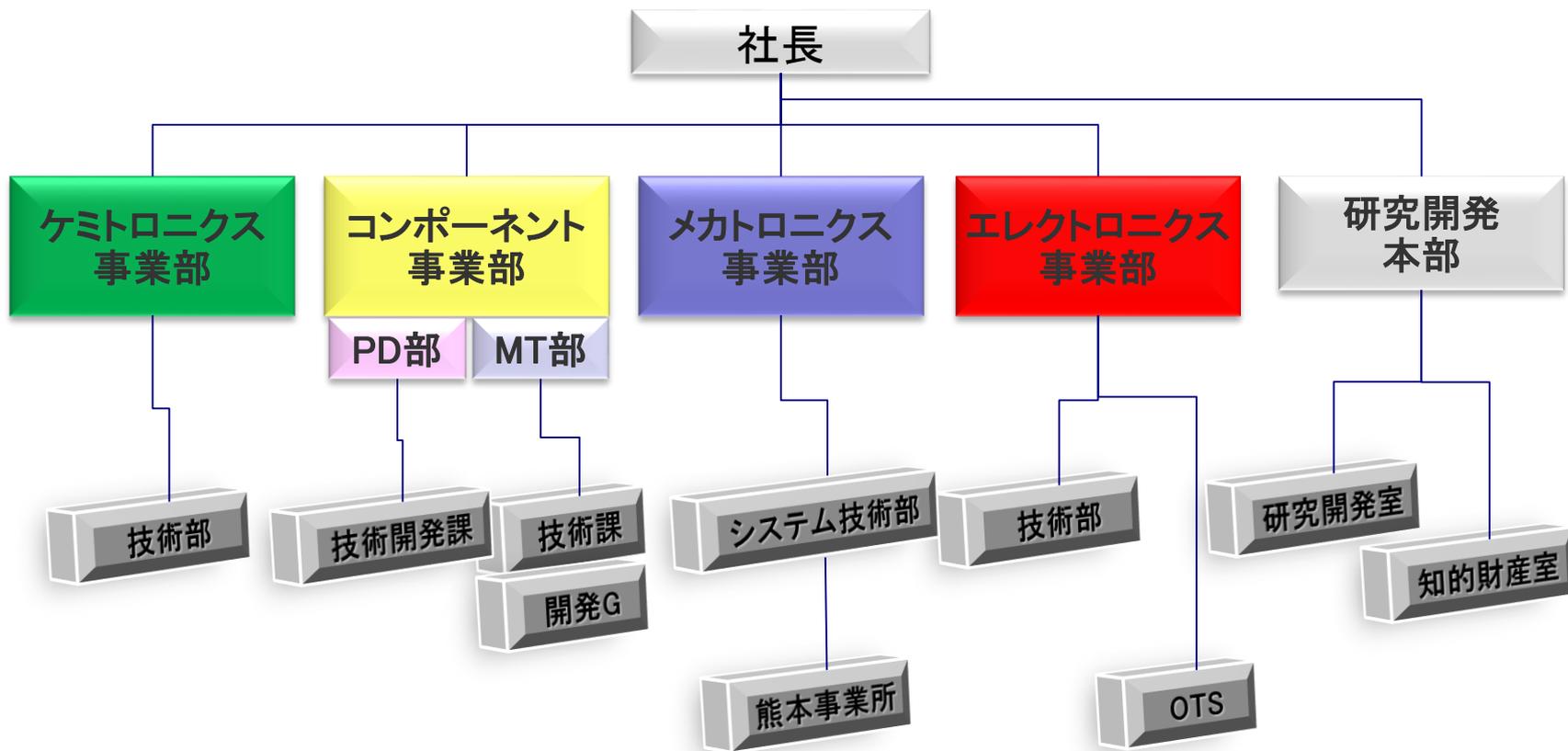
連結経営成績の推移



オリジン電気の技術製品開発体制 研究開発本部

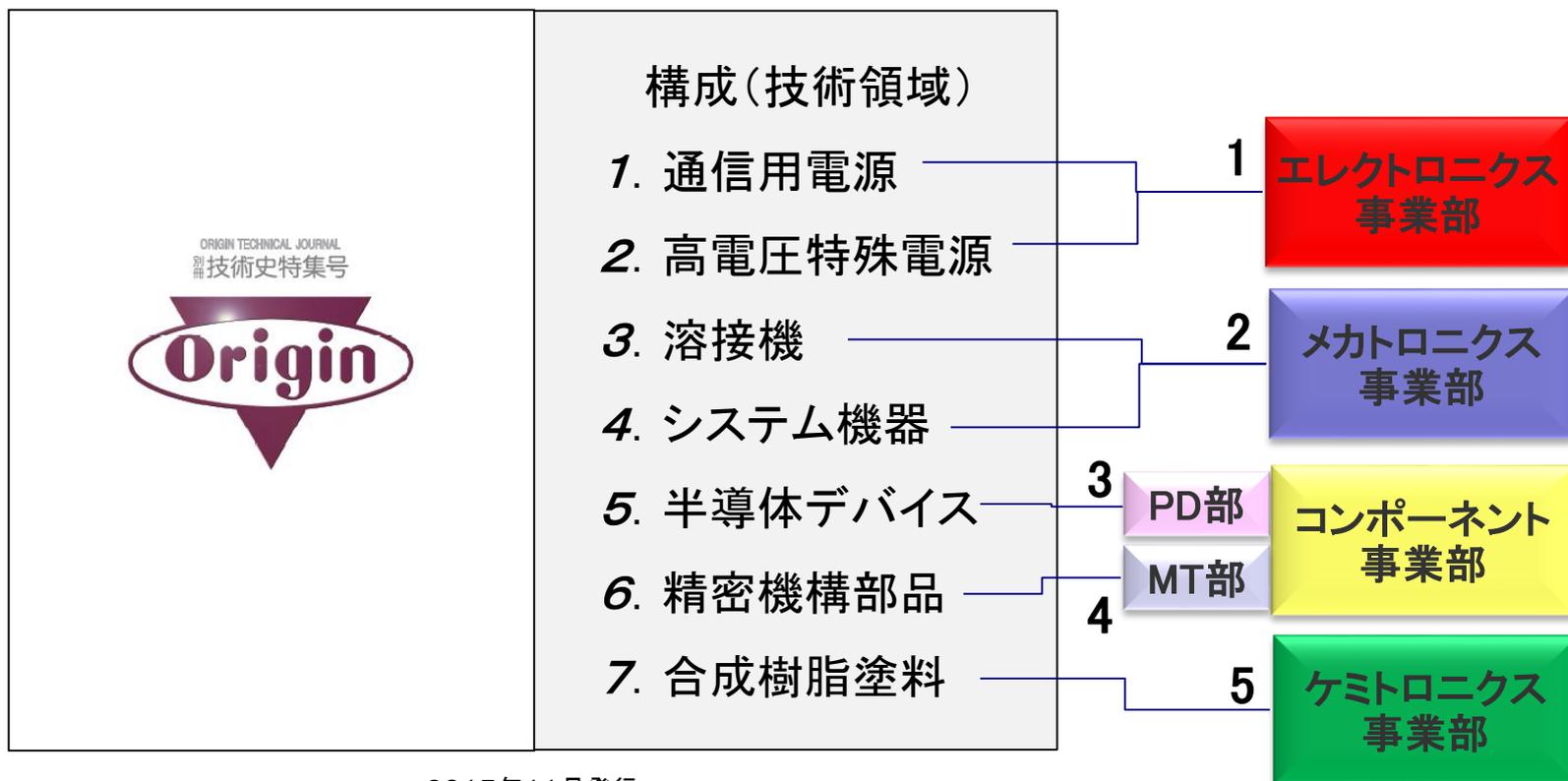
1. オリジン電気の技術開発組織図
2. 技術史と技術領域
3. 技術開発体制の整備

1. オリジン電気の技術開発組織図



2. 技術史の発行と技術領域

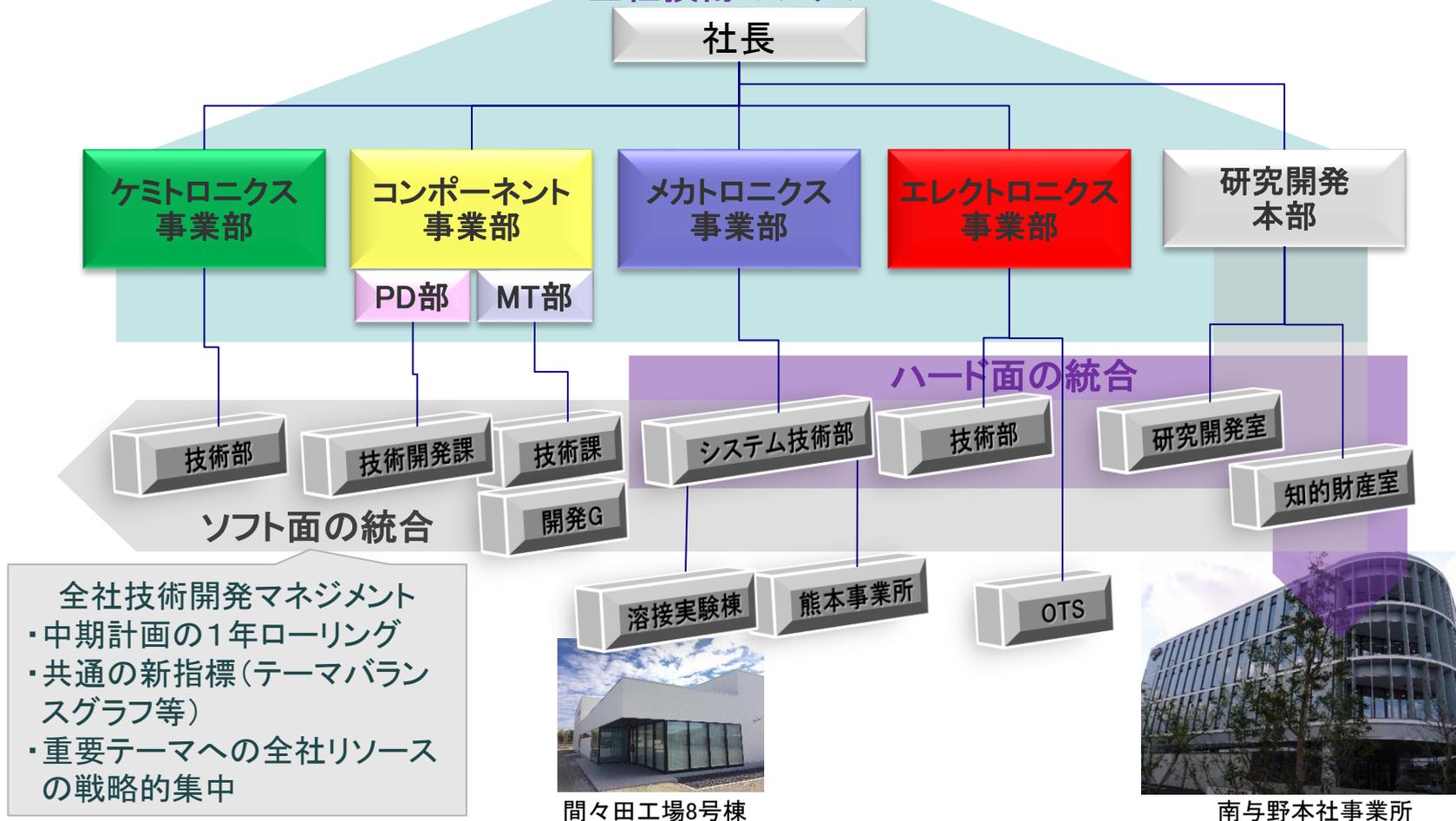
オリジン電気の77年の技術を振り返り、
これからの四半世紀の糧とする。



2015年11月発行

3. 技術開発体制の整備

新製品新事業創出
 全社技術のシナジー



全社技術開発マネジメント

- ・中期計画の1年ローリング
- ・共通の新指標(テーマバラン スグラフ等)
- ・重要テーマへの全社リソースの戦略的集中